



年始のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年もバイオマス利活用の推進に向けご理解、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成 17 年は木質バイオマス利活用促進事業、国と協力して実施している農林水産バイオリサイクル研究、バイオマスプラスチック導入(バイオマス利活用フロンティア推進事業)等の国庫補助事業あるいはシンポジウム開催等の普及啓発事業等について積極的に展開してきたところであります。平成 18 年も皆様のご支援をいただきながら、引き続きバイオマス利活用推進に向けて取り組んでまいります。

なお、平成 18 年 1 月 20 日をもって、当バイオマスプロジェクトチームは 3 周年を迎えます。皆様からのご支援やご協力をいただきながら、千葉県らしさを生かした「バイオマス立県ちば」の実現に向けて取り組んで参りますので、本年もどうぞよろしくお願いたします。

バイオマスプロジェクトチームリーダー

1. 事業の進捗状況 等

○ 山田町での農林水産バイオリサイクル研究

各プラントの運転が開始され、実証試験が本格化するとともに、炭化炉装置の運転実習等が行われています。

また施設への視察要望も多く寄せられ、NPOや行政機関等の視察に対応しています。

2. 国・大学・市町村等との連携

○ (独)産業技術総合研究所「地域 L C A (ライフサイクルアセスメント)」検討会



今年度第 4 回目となる(独)産業技術総合研究所 L C A 研究センター(産総研)との検討会を行いました。(12 月 19 日)

- ・生ごみ再資源化技術(たい肥化・メタン発酵・直接溶融・焼却)
- ・家畜排せつ物再資源化技術(ハウス・密閉型コンポ・メタン発酵)

主として以上の2点を対象に、各種再資源化技術の環境影響の試算結果等について意見交換を行いました。

また、専門的意見を反映させるため、県試験研究機関を加えた意見交換会を実施しました(1月11日)。産総研では、2月下旬に中間報告をまとめる予定となっています。

3. 普及啓発活動・その他

○ シンポジウム関連

東京大学寄付研究ユニット「荏原バイオマスリファイナリー」と共催でシンポジウムを県庁中庁舎10階大会議室で開催しました。(12月9日)

企業・大学・自治体関係者等、約100名が参加し、バイオマスプロジェクトチームからは山武町バイオマスタウン構想について情報提供を行いました。

招待講演：バイオマス利活用による持続可能な循環型社会システムの構築を目指して
(独)農業工学研究所から千葉県山田町におけるバイオマス多段階利用の地域実証研究を中心とした循環型社会システム構築に向けての取組みについての講演。



招待講演：沖縄宮古島における閉鎖島嶼型のバイオマス循環システムについて
(独)農業工学研究所から沖縄県宮古島を対象にしたバイオマスを多段階で総合的に活用するバイオマス循環システムに向けての取組みについての講演。

招待講演：伊江島バイオマスアイランド構想

アサヒビール(株)より沖縄県伊江島で行われているサトウキビを原料として、安価かつ大量に燃料用エタノールを生産するプロセス開発の取組みについての講演。

情報提供：山武町バイオマスタウンへの取組みについて

千葉県バイオマスプロジェクトチームより先頃公表された山武町バイオマスタウン構想の内容及びその取組みについての説明。

講演：バイオマスリファイナリーにおける要素技術開発とシステム設計

東京大学寄付研究ユニット「荏原バイオマスリファイナリー」から、家畜ふん尿・排水処理システム、水熱炭化反応によるメタン発酵残さ炭化処理、炭化スラリー燃料とディーゼル燃焼技術の開発等のバイオマス利用技術の基礎研究についての講演。

講演：バイオマスリファイナリーにおける微生物集団の利用

東京大学寄付研究ユニット「荏原バイオマスリファイナリー」から、生ごみ分解、たい肥化、嫌気消化プロセス等に関わる微生物集団の利用法についての講演。